

令和5年度 学校教育自己診断 分析

生徒（この学校に入学して良かった） 肯定率 84% ↑ + 1

保護者（子どもをこの学校に入学させて良かった） 肯定率 92% ↑ + 2

生徒・保護者ともに、昨年度より肯定率がアップした。コロナ禍が明け、一定安定した学校生活が生徒たちに提供できていると推察できる。これからも高く評価されるよう、学校全体で努力が必要である。

保護者（学校からホームページ・メルマガを通じ適時情報提供がされている） 肯定率 83% ↓ - 1

教職員（教育活動に必要な情報について、ホームページやメルマガを通じて生徒・保護者や地域への周知に努めている） 肯定率 97% →

HPの更新やメールでの連絡も昨年度より多く行っているが、保護者の肯定率は1ポイント下がった。メールでの連絡が定着している状況において、より明確な連絡内容やタイミングが求められていると推察できる。今後も保護者や地域の方々としっかりつながりを持ち、生徒が活躍する学校にしていきたい。

（授業関連）

肯定率 生徒 79% ↑ + 2 教職員 86% ↓ - 2 保護者 58% ↑ + 5

昨年度に比べ、生徒の肯定率は1ポイント、保護者の肯定率は5ポイント、それぞれ上がった。教職員が各自で工夫し、生徒の実態を踏まえ、指導方法の工夫・改善に努めている結果が評価されていると推察する。ただし、保護者の肯定率は低い項目多く、とくに「放課後や夏休みなどに補習・講習を十分行っている」については51%の評価であった。放課後の補習等については、学校全体としてレベルアップするため体制整備を図っていきたい。

（進路関連） 肯定率 生徒 91% ↑ + 5 教職員 88% ↓ - 12 保護者 84% ↑ + 2

昨年度に比べ、保護者の肯定率は2ポイント（生徒の肯定率は5ポイント）上がり、3年連続の上昇となった。8割を超えてきたので学校の進路指導は一定評価いただいている。今年度は難関私立大学への進学希望者だけでなく、専門学校や就職希望者も増え、様々な進路希望への対応が求められている。そのような状況の中で、進路実現が果たせるよう体制をより整備していきたい。

（人権教育関連） 肯定率 生徒 81% ↑ + 10 教職員 84% ↑ + 3 保護者 66% ↑ + 4

昨年度に比べ、生徒は3ポイント、教職員は5ポイント、保護者は4ポイントと、肯定率がすべて上がった。生徒の評価については、各項目でポイントを上げており、引き続き、生徒が安全で安心できる学校であり続けるため、学校体制の改善に取り組む。